

主催：関西学院大学手話言語研究センター

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

手話学コロキウム 2019年度第1回

言葉の森に でかけよう



- フィールドワークによる言語の研究 -

手話言語学や手話に関わるトピックについて「研究したい!」という方のための、年2回の研究講座です。今年度の第1回目は、「フィールドワーク」のエキスパートをお迎えし、「研究をすること」の意義や魅力をたっぷりお話しいたします。

2019年

6月16日 **日**

参加費
無料

13:30~16:30

関西学院大学大阪梅田キャンパス 1005号室

 13:30 - 14:50

「フイー語の森にでかけよう!
- 「ことば」と「場」と「担い手」と -

講師：菊澤律子

(国立民族学博物館人類基礎理論研究部・
准教授)

対象：手話話者、手話使用者、その他手話に関する研究を
してみたい方

定員：30名 (事前申込制 / 先着順)

 15:00 - 16:20

「手話の森にでかけよう
- ろう者による言語のフィールドワーク -

講師：相良啓子

(国立民族学博物館人類基礎理論研究部・
特任助教)

手話通訳が
付きます



【お申込方法】

←左記QRコード または 下記URL よりお申込みください。

<http://bit.ly/2KkOSON>

【申込締切】6月9日(日)

※詳細は裏面をご覧ください。

プログラム (予定)



13:00	開場 (受付開始)
13:20~13:30	開会の挨拶
13:30~14:50	講演&ワークショップ 菊澤律子氏
14:50~15:00	休憩
15:00~16:20	講演&ワークショップ 相良啓子氏
16:20~16:30	閉会の挨拶

登壇者紹介



菊澤律子 (国立民族学博物館人類基礎理論研究部・准教授)

東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了 (言語学)、
ハワイ大学大学院言語学部Ph.D.取得 (Linguistics)。
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所を経て、2005
年より国立民族学博物館 (民博) 勤務。
専門は言語学 (オーストロネシア語族を対象にした記述・歴史言
語学、オセアニアの先史研究、地理情報システムの歴史言語学へ
の応用)。
2011年より民博において手話言語学の研究推進事業に携わる。



相良啓子 (国立民族学博物館人類基礎理論研究部・特任助教)

筑波大学大学院教育研究科障害児教育専攻修士課程修了 (教育
学)、英国セントラルランカシャー大学MPhil取得 (手話言語学)。
英国セントラルランカシャー大学国際手話ろう文化学研究所
(iSLanDS)を経て、2014年より国立民族学博物館 (民博) 勤務。
専門は、手話言語学 (手話類型論、手話の歴史言語学)。
2011年より、日本、台湾、韓国を中心にフィールドワークを行
い、手話言語学研究に取り組んでいる。

会場

関西学院大学 大阪梅田キャンパス 1005 号室
(大阪市北区茶屋町 19-19 アプローズタワー 10F)



- * 阪急「梅田駅」茶屋町口改札口より北へ徒歩5分
- * JR「大阪駅」御堂筋出口から徒歩10分
- * 地下鉄御堂筋線「梅田駅」から徒歩7分、「中津駅」から徒歩4分



お問い合わせ先



関西学院大学 手話言語研究センター

Tel: 0798-54-7013 Fax: 0798-54-7014

Email: slrcenter@kwansei.ac.jp

http://www.kwansei.ac.jp/c_shuwa